

M.A. Examination 2017
Semester – IV
Japanese
Paper J - 15
(Technical Translation)

Time: Three Hours

Full Marks: 40

Questions are of the value as indicated in the margin.

問題 I 次の和文を英訳しなさい。

10X4=40

- 1) 日本の公害問題は深刻だ。「公害先進国」とまで言う人もいる。日本経済は、戦後、高度に成長して、「経済大国」になった。しかし、そのかげで国土は急速に荒廃して、公害が表面化してきた。工場廃液によって、河川やうみが汚染され、魚に水銀、カドミウム、PCB などが蓄積された。魚をよく食べる日本人にとって、これは大きな問題だ。公害病にかかった住民は、治療法もなく、苦しんでいる。問題が深刻化するにつれて、被害者の住民が公害反対運動に立ち上がった。公害企業に損害賠償を求める裁判が起こされ、四日市の大気汚染訴訟などで、いずれも住民側が勝った。これらの結果から、企業側も真剣に公害対策に取り組む姿勢をやっと見せ始めた。経済成長を考える前に、まず、公害対策を考えなければならないという意見が強くなっている。政府なども多くの法律を作って、対策に乗り出している。しかし、問題はまだ残こされていて、公害はこれからの政治の大きな課題だ。

- 2) 日本には、仏教、神道、キリスト教など、多くの宗教がある。ある調査によると、宗教別の人口の合計は、全人口の 2.7 倍ぐらいになったそうだ。日本では、一人の人が二つ以上の宗教をもっていることが多いのだ。この辺に日本の宗教の特徴がありそうだ。日本人の大部分は、形式的には、仏教である。しかし、たいていの家庭には、仏壇と並んで、神棚も祭ってある。神社とお寺の行事に同じように参加するのが、多数の日本人の習慣である。これは、キリスト教などの立場から見れば、極めて奇妙なことだが、日本では、仏教伝来の初めから、比較的自然に行われて来たようだ。古代の日本人は、自然界の山や川や森には、目に見えない精霊が無数にいて、これらの精霊や祖先の霊が人間を幸福にも、不幸にもすると考えた。これらの精霊はカミと呼ばれた。人々は、カミの恵みを求めるために、あるいは、カミのたたりを避けるために、宗教儀礼を行った。これが神道の起こりらしい。

P.T.O.

(2)

- 3) 日本の経済成長率は世界第一位と言われている。1971年の国民総生産、GNPは1955年に比べて、9.17倍になり、アメリカ、ソ連について、世界第三位である。しかし国民一人当たりの所得は1971年現在、世界第13位である。物価は毎年上昇して、インフレの傾向にある。公共施設の不足も目立っている。日本の失業率は、低くて、わずか1.2%であるが、労働条件は、あまりよくない。労働時間は平均週42時間ぐらいであり、その平均賃金は税金をふくめて月66000円ぐらいだ。いろいろな社会保障制度は一応あるが、その内容や額はまだまだ不十分である。いま、社会保障の一人当たりの給付額はイタリアやイギリスの1/4から1/5、西ドイツの1/8である。今後、社会保障はもっと充実するだろうが、スウェーデンや西ドイツに追いつくまでには、何年もかかるに違いない。
- 4) 人口は大都市に集中しているが、1965年ごろは、大都市の人口増加のテンポが鈍くなって、大都市周辺地域で人口がどんどん増加している。大都市の集中部の過密がひどくなったので、その周辺部の通勤の可能な地域にむかって人口が移動し、ドーナツ型と言われる現象が起こってきた。1970年には、首都圏、中京圏、京阪神圏の人口が、全人口の43%を占めた。過密の地域と過疎の地域で、色々な問題が表面化してきた。大都市やその周辺地域では、朝夕の交通停滞満員電車の混雑振りがすさまじい。地価は高くなり、住宅不足は深刻になっている。
